



2015. **3.29** 日 **10:00 - 16:00**  
 第1部 10:00~12:00 / 9:30開場  
 第2部 13:00~16:00 / 12:40開場

定員 170名 予約 不要 資料代 ¥500  
 手話通訳 要約筆記

仙台市シルバーセンター7階 第1研修室  
 仙台市青葉区花京院1-3-2

※周辺道路が大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。※仙台駅より徒歩10分。

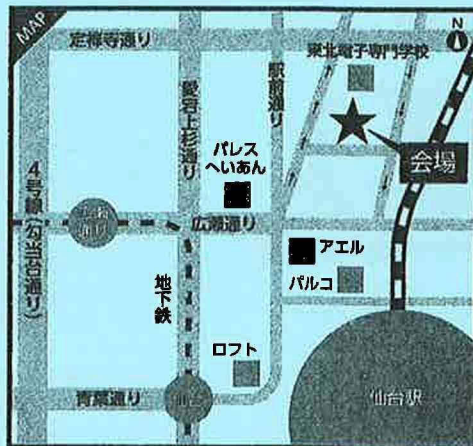
CILたすけっと  
**TEL.022-248-6054**  
 ① cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp

第1部 **そよ風のように仙台へ出よう!**  
**障がい者運動の先達から私たちが受け継ぐための会**

CILたすけっと、ゆめ風基金の20年。阪神・淡路大震災から20年。東日本大震災から4年。障がい者運動が続いていくためにも、長年運動を続けている大先輩「牧口一二さん」に先達の経験をお聞きし、これからの活動のヒントにします。

第2部 **津波・原発・障がい者、あの日と今とこれからと。**  
**ドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々」出演者のその後**

東日本大震災で被災した、障がい者とそこに関わる人々の証言をまとめた映画「逃げ遅れる人々」。あれから4年、出演者4名と飯田基晴監督をお招きし、今の生活の様子やこれからのことなどをお聞きし、現在の被災地の障がい者を取り巻く新たな課題や問題点を話し合います。



★会場にてドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者～」を販売いたします。詳細はお気軽にお問い合わせください。

主催  
 共同企画

障がい者の視点で、障がい者の地域生活をサポートいたします。

**CILたすけっと** <http://blog.canpan.info/tasuketto/>

●TEL 022-248-6054 / MAIL cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp ●仙台市太白区長町1-6-1

被災障害者支援

認定 NPO法人 **ゆめ風基金** <http://yumekaze.in.coocan.jp/>

●TEL 06-6324-7702 / MAIL yumekaze@nifty.com ●大阪市東淀川区東中島1-13-43-106

## そよ風のように仙台へ出よう!

### 障がい者運動の先達から私たちが受け継ぐための会

CILたすけっと、ゆめ風基金の20年。阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年。障がい者運動が続いていくためにも、長年運動を続けている大先輩「牧口一二さん」に先達の経験をお聞きし、これからの活動のヒントにします。



CILたすけっと  
佐藤 順子 / 登壇者

仙台生まれ仙台在住。52歳。脊髄性筋萎縮症(SMA)のため幼少期から車いすと体幹装具を使用。11歳で電動車いすに出会いドライバー歴40年超。幼稚園から大学まで地元地域の普通学級で学ぶ。大学卒業後、自宅にて英語教室を開設。現在「CILたすけっと」障がい当事者スタッフとして活動中。



ゆめ風基金代表理事  
牧口 一二 / 進行役

グラフィックデザイナー。1937年大阪生まれ。被災障害者支援「ゆめ・風基金」代表理事。障害者文化情報研究所所長。誰でも乗れる地下鉄をつくる会代表。駅にエレベーターを!福祉のまちづくり条例を!大阪府民の会代表。大阪市立大学・桃山学院大学・関西学院大学などで非常勤講師。NHK教育テレビ「きらっと生きる」の常任コメンテーターを09年3月に卒業。



CILたすけっと  
高橋 愛実 / 登壇者

大崎市古川出身。2013年3月に東北福祉大学を卒業し、「たすけっと」のスタッフとして活動中。ウエルドニヒ・ホフマン病という障害から、電動車椅子で生活。高校時代から約8年間仙台市の西多賀病院で生活。2014年3月から長年の夢であった自立生活を始めた。音楽が大好きで、友人たちと仙台で開かれているイベントで歌っている。今後はピア・カウンセリングやサロン活動を初め、障がいを持っている方が地域で楽しく生活しやすい町づくりに貢献したい。



CILたすけっと  
鎌田 慎也 / 登壇者

宮城県、色麻町出身。2014年3月に西多賀支援学校を卒業後、「たすけっと」のスタッフとして活動中。デュシェンヌ型筋ジストロフィー病という障害があり、歩行が困難なため電動車椅子で生活。現在も仙台市太白区にある西多賀病院で生活している。歌うことが好きで、友人とユニットを組み、たまに仙台で開かれるイベントに参加。今後は、勉強不足で分からないことが沢山あるので、自分ができることからコツコツと頑張ってやっていきたい。



CILたすけっと代表  
杉山 裕信 / 登壇者

CILたすけっと代表。1995年1月に「CILたすけっと」発足。その後、2007年には県内約40団体に呼びかけ「みやぎアピール大行動実行委員会」を発足し、県内初の障がい種別を越えた集会を開催し、480名が集結。大震災後は「被災地障がい者センターみやぎ」の事務局として1,500名のVTの皆さんと、県内の約2,000名への支援を行う。現在も「ゆめ風ネットみやぎ」として被災地障がい者支援を積極的に行っている。

## 津波・原発・障がい者、 あの日と今とこれからと。

### ドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々」出演者のその後

東日本大震災で被災した、障がい者とそこに関わる人々の証言をまとめた映画「逃げ遅れる人々」。あれから4年、出演者4名と飯田基晴監督をお招きし、今の生活の様子やこれからのことなどをお聞きし、現在の被災地の障がい者を取り巻く新たな課題や問題点を話し合います。



福祉のまちづくりの会  
鈴木 絹江 / パネリスト

1990年代に、福島県船引町で「障がい者自立生活支援センター福祉のまちづくりの会」を発足させ、福祉分野の活動を展開。アメリカ、ドイツなどでの研修や視察など、キャリア研鑽に努め、01年には介護保険指定事業所の「特定非営利活動法人ケアステーションゆうとびあ」を設立し理事長に就任。その他、全国自立生活センター協議会(JIL)会員、JIL認定ピア・カウンセラー、JIL人権委員。



ゆめ風基金理事  
八幡 隆司 / コーディネーター

1957年生まれ。82年、障害者の働く場「豊能障害者労働センター」設立。88~2004年、大阪府箕面市議。95年1月、兵庫県南部地震障害者救援本部を設立し、阪神間の障がい者支援にあたる。同年4月、ゆめ風基金呼びかけ人になる。同年6月、ゆめ風基金発足。このたびの地震では、いち早く被災地に駆けつけ、仙台、郡山、盛岡に「被災地障がい者支援センター」を立ち上げた。



神奈川県自立生活センター  
小野 和佳 / パネリスト

1982生まれ。先天性の脳性まひ。高校3年生で福島県の事業「ふれあいウイング」に参加し、アメリカの福祉実情の研修を経て、自立生活センターの活動に関心を持つ。専門学校卒業後、03年4月よりいわき自立生活センタースタッフとして活動を開始。06年より福島県全身性障害者等連絡会の事務局を担う。震災後、神奈川県相模原市に移住し「NPO法人神奈川県障害者自立支援センター」にて活動。



いわき自立生活センター  
長谷川 秀雄 / パネリスト

1954年いわき市生まれ。一般企業勤務の後、96年に「いわき自立生活センター」の設立に参加。05年理事長就任。2001年に進行性神経難病であるALSの患者団体、日本ALS協会福島県支部の設立に参加。11年10月に支部事務局長となる。11年5月、事業所の周りに1千戸の仮設住宅が建設されたことをきっかけに、9月に避難者を支援する「中央台暮らしサポートセンター」を「いわきNPOネットワーク」と協力して立上げ活動中。



ぴーなっつ  
青田 由幸 / パネリスト

1954年生まれ。「特定非営利活動法人さばーとセンターぴあ」代表理事。福島県南相馬市の会計事務所に嘱託勤務。08年5月、「NPO法人さばーとセンターぴあ」を立ち上げ、「断らない」を合言葉に障害者の生活介護、就労支援事業、障害者相談支援に取り組み。東日本大震災では原発事故後に避難出来なかった障害者の支援や調査を行った。



映画監督  
飯田 基晴 / パネリスト

1973年生まれ。96年より新宿でボランティアとして野宿の人びととかかわる。98年より、ビデオ・テレビなどで野宿者の状況を発表。フリーで映像制作を行う。06年、仲間と「映像グループローポジション」を設立。監督作品として、ドキュメンタリー映画「あしがらさん」、「犬と猫と人間と」、「逃げ遅れる人々」などの他、プロデュース作品として、DVD「ホームレスと出会う子どもたち」、「犬と猫と人間と2」などがある。

#### 団体情報

神奈川県自立生活センター TEL.046-247-7503 <http://www.kilc.org/>

福祉のまちづくりの会 TEL.0247-82-2909 <http://www.j-il.jp/kamel/>

デイサポートセンター ぴーなっつ TEL.0244-24-0216

いわき自立生活センター TEL.0246-68-8925 <http://space.geocities.jp/iwakil/cl/>

映像グループ ローポジション TEL.0452-28-7996 <http://homepage2.nifty.com/lowpos/>